

平成18年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 1 4 6 0 3      2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名 若手研究(B)      4. 研究期間 平成17年度～平成19年度
5. 課題番号 1 7 7 0 0 1 1 1
6. 研究課題名 アソシエーション可視化による異文化間協調作業のための相互理解と知識創発の統合支援

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
7 0 3 7 9 6 0 0	フガナ オオヒラ, マサオ 大平, 雅雄	情報科学研究科	助手

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
	フガナ		
	フガナ		
	フガナ		
	フガナ		
	フガナ		

9. 研究実績の概要(国立情報学研究所でデータベース化するため、600字～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)

1. 研究の目的

本研究課題は、異文化間協調作業におけるグループミーティング時の相互理解構築過程と知識創発過程の計算機による統合的支援を目的としている。本研究課題では、(A)異組織の開発者らによるソフトウェア設計ミーティング、(B)産学官連携プロジェクトにおける研究者らによる研究ミーティング、(C)システムアナリストと顧客らによる要求定義ミーティングという具体的な応用ドメインにアソシエーション可視化技術を適用しその有効性を検証する。

2. 本年度（～平成19年3月31日）の研究実績

- (1) 前年度おこなった応用ドメインの現地調査から、アソシエーションの可視化対象とすべき情報の種類がドメイン毎に異なることが明らかになった。ドメイン毎に適したアソシエーションの表現方法（可視化手法）が必要であることから、既存の可視化手法の改良をおこなった。新たなアソシエーション可視化手法については、情報視覚化に関する国際会議（AVI2006: Advanced Visual Interfaceなど）にて研究成果を発表し、他の専門家からの有益なフィードバックを多数得ることができた。
- (2) 支援システムの構築  
 (1) で得られたフィードバックも考慮して当初の計画通り、研究代表者がこれまで構築してきた既存システムをベースとした拡張版の支援システムを構築した。学生を被験者とした予備的な実験およびフィールドスタディをおこないシステムの有用性を確認することができた。

※ 成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4判縦長横書1枚)を添付すること。

10. キーワード

- |              |              |            |
|--------------|--------------|------------|
| (1) アソシエーション | (2) 異文化      | (3) 協調作業支援 |
| (4) 要求工学     | (5) ソフトウェア開発 | (6) 知識協創支援 |
| (7) 相互理解     | (8) 知識創発     | (裏面に続く)    |

11. 研究発表(平成18年度の研究成果)  
〔雑誌論文〕 計(5)件

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
Masao Ohira	D-SNS: A Knowledge Exchange Mechanism Using Social Network Density among Mega-Community Users	Proc. of Supporting the Social Side of Large Scale Software Development (CSCW2006 Workshop)		2006	39-42

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
Takeshi Kakimoto	Social Network Analysis on Communications for Knowledge Collaboration in OSS Communities	Proc. of the 2nd Intl. Workshop on Supporting Knowledge Collaboration in Software Development (KCSD2006)		2006	35-41

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
Susumu Kuriyama	A Wearable Interface for Visualizing Coauthor Networks toward Building a Sustainable Research Community	Proceedings of the working conference on Advanced visual interfaces (AVI2006)		2006	492-495

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
田中 秀一郎	ソフトウェア要求抽出における異文化コラボレーションの分析	第5回情報科学技術フォーラム(FIT2006) 情報科学技術レターズ		2006	473-476

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
栗山 進	対面コミュニケーションにおけるTree-Mapを用いた共著関係の視覚化の効用	情報処理学会研究報告, HI研究会		2006	29-35

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ

〔図書〕 計(1)件

著者名	出版社	書名	発行年	総ページ数
Yunwen Ye	National Institute of Informatics	Proc. of the 2nd intl workshop on supporting knowledge collaboration in software development (KCSD2006)	2006	65

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況  
計( )件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日

